

一般財団法人白神山地財団 平成 26 年度事業報告

- 実施期間：平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

- 実施事業

① BUNA 林再生事業

■ 「白神の恵み文学賞」

日 時：事業実施期間 平成 26 年 5 月～平成 27 年 2 月

概 要：未来を担う子供たちの自然を愛でる心を育むため、白神で感じた想いを形にする「白神の恵み文学賞～少年・少女絵手紙コンテスト～」を開催（中学生まで対象）した（募集期間：平成 26 年 10 月 26 日～平成 27 年 1 月 16 日）。今年の募集媒体は「ブナのボード」に描く「絵手紙」とした。また、併催企画として「白神山地自然体験ツアー」（10 月 26 日）、「絵手紙ワークショップ」（10 月 26 日、12 月 25 日）を開催した。平成 27 年 1 月 20 日に審査を行い、審査後に全作品（応募全 39 作品、他大人部門 9 作品）を展示した（展示期間：平成 27 年 2 月 11 日～22 日）。展示終了後、応募者が絵手紙を送りたい人に事務局から発送した。

場 所：「ブナ巨木ふれあいの径」コース（自然体験ツアー）、白神山地ビジターセンター（絵手紙ワークショップ）、ヒロロスクエア（絵手紙ワークショップ、展示）

※平成 26 年度地域づくり推進ソフト事業助成金を使用

② BUNA の里まち緑化事業

日 時：事前 PR 平成 26 年 10 月 5 日（日）／配付 10 月 12 日（日）

概 要：白神山地のブナを育てることによって、市民に自然やブナ帯文化に興味を持ってもらうこと、また緑化木としてのブナの活用をはかることを目的として、白神山地のブナの幼木の里親を公募し配布した。

場 所：弘前あさいち（えきどてプロムナード）

※平成 26 年度地域づくり推進ソフト事業助成金を使用

③ 白神トレイル整備事業

■ 「菅江真澄の道」調査

日 時：平成 26 年 11 月 10 日（月）

概 要：日本のみならず世界的ブームとなっているランニングやウォーキング。代表格としての「信越トレイル」があり、東日本大震災を経て整備された「みちのく潮風

トレイル」も人気を博している。白神山地においても、フィールドに優れた自然や景観地、人々の暮らしや文化に触れるトレイルを整備し、やがては「みちのく」や「信越」などつながって、日本縦断型のトレイルとしてインバウンド観光の重要なコンテンツとすることを目指す。「白神学ツアー」を実施のNPO法人白神共生機構、そして首都大学東京山下祐介研究室と共同で「菅江真澄の道」を実際に歩いての調査を行った。

場 所：白神山地

■ 東京白神学講座

日 時：平成 27 年 1 月 19 日（日）

概 要：東京において白神山地（特に西目屋村・弘前市）の歴史・文化を紹介する講座を一般市民向けに開催し、白神山地のPRを行った。第1部は首都大学東京准教授・山下祐介氏による基調講演、第2部は「有限会社ヒーリングエコツアーPROガイド エコ・遊」代表・土岐司氏、西目屋村長・関和典氏に、それぞれの立場から語ってもらった。

場 所：首都大東京秋葉原サテライトキャンパス会議室

※平成 26 年度白神山地活性化実行委員会共催事業

④ 白神山地活性化実行委員会事業

■ 津軽の食と産業まつり「白神山地活性化実行委員会」ブース出展

日 時：平成 27 年 10 月 17 日～19 日

概 要：白神山地の食の PR を目的に、白神の生ハチミツ等を販売している「BeFavo」と協働でブース出展を行った。白神山地の写真や環白神地域のパネル展示も行った。

場 所：弘前運動公園 克雪トレーニングセンター エントランス広場

⑤ 弘前駅における白神山地広報事業

日 時：平成 26 年 6 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

概 要：弘前ライオンズクラブが 55 周年記念事業として弘前市に寄贈した白神山地情報モニター設備の、白神山地等の情報発信をするためのツール作成及び維持管理を行った。

場 所：弘前駅中央口 1F

⑥ 平成 26 年度地域活性化に向けた協働取組の加速化事業に係る

「白神の恵みプロジェクト～白神山地の自然資本活用による ESD プログラムの作成～」業務

日 時：平成 26 年 10 月 22 日～平成 27 年 3 月 6 日

概 要：環境省の「平成 26 年度地域活性化に向けた協働取組の加速化事業」の採択を受け、定住人口が減少しつつある「世界自然遺産白神山地」周辺市町村において、学校単位での教育旅行受入れ、またこの協働取組をきっかけとして「白神の恵み」を活用した周辺自治体等の協働取組を促進するとともに、白神山地を訪れる交流人口を増やして、環境性と経済性が共生できる持続可能な社会の構築を目指すものとして、環境教育プログラムの作成を関係者との協働により実施した。具体的内容としては、環白神地域の資源について調査・情報収集し、自然資本リストとして取りまとめ、教育関係者、自治体、NPO 等の検討委員からなる検討会により、その自然資本リストを活用した ESD 環境教育プログラムを作成し、ESD プログラム BOOK にまとめた。また、ESD 環境教育プログラムを地域住民、関係者に周知・啓発するための「白神の恵みと ESD 環境教育フォーラム」を開催、フォーラム終了後関係者交流会を開催した（平成 27 年 2 月 1 日）。

場 所：白神山地、ヒロロスクエア多世代交流室（第 1・2 回 ESD プログラム作成検討会）、土手町コミュニケーションプラザ（「白神の恵みと ESD 環境教育フォーラム」）

⑦ 第 1 回白神山地未来会議

日 時：平成 26 年 11 月 7 日

概 要：「ユネスコエコパーク」登録が白神山地にとって有益であるかの視点で、文部科学省や日本ユネスコ国内委員会等と連携してユネスコエコパーク申請のサポートをしている「日本 MAB 計画委員会」副委員長の酒井暁子先生を講師に招き、ユネスコエコパークの国内登録事例紹介を交えた勉強会として、第 1 回白神山地未来会議を開催した。

場 所：ヒロロスクエア多世代交流室